

アバッセたかた専門店街&図書館紹介プロジェクト (アバッセ・プロジェクト)

井上博夫

岩手大学

1 プロジェクトの目的

- ① 学生が被災地を訪れ、現地の人々に取材することを通じて、課題を発見し、自ら解決のための方策を考え、そのために行動する能力を培う。
- ② 学生がチームを構成し、計画の立案、取材の実施、記事の作成等を共同して行うことにより、コミュニケーション能力、交渉力、創造力を培う。
- ③ 他大学の学生と一緒に共同活動を行うことにより、学生間の交流を広げ、相互に成長のための刺激を与える。
- ④ 上記の被災地事業者等に関する取材と情報発信を通じて、まちの復興・再生に貢献する。

2 プロジェクトの概要

(1) 趣旨

津波で壊滅的被害を受けた陸前高田の中心市街地に、2017年4月に大型商業施設「アバッセ」が誕生した。岩手県内各大学の学生がこのアバッセを訪問し、入居した各店舗と市立図書館の「いいところ」や震災前後の「これまでの歩み」を取材・紹介することを通じて、まちの賑わいを応援する。

取 材 先 一 覧

	店舗等名称	業種
1	伊東文具店	文具・書籍・CD
2	100円ショップキャンドウ陸前高田店	100円ショップ
3	スタイル	手芸・婦人服
4	あべや	ファーストフード(たこ焼き)
5	三陸菓匠さいとう高田店	菓子
6	ニコニコキッズランド	アミューズ
7	汐風	ファーストフード(うどん)
8	やぎさわカフェ	カフェ
9	居酒屋膳	飲食・居酒屋
10	ダイニングバーさらり	飲食(ダイニングバー)
11	デイサービス Reborn	通所リハビリ
12	弁護士法人空と海	法律事務所
13	CPサロンピネッド	エステティックサロン
14	菅野音楽教室	音楽教室
15	陸前高田市立図書館	図書館
16	高田松原商業開発協同組合	アバッセの運営組織

(2) 対象学生

「ふるさといわて創造協議会」に参加する岩手県内各大学等の学生を募集した。

岩手大学の1年生については、「初年次自由ゼミナール」(1単位)として実施。

(3) プロジェクトの内容

① 日程

10月28日(土)13:00~17:00 事前学習(岩手大学 GB32 講義室)

- 11月4日(土)～5日(日) 陸前高田・現地活動
11月25日(土)～26日(日) 陸前高田・現地活動
12月3日(日)13:00～17:00 取材のまとめ(県立大学アイーナキャンパス)

② 事前学習

- 陸前高田の復興の歩みと市街地の現状を知る。
- プロジェクトの具体化
 - ・取材チームの編成
 - ・インタビューシートの作成
 - ・取材計画の策定

③ 現地取材(1)

- ・11月4日(土)～5日(日) 陸前高田市
- ・学生5名参加(岩手大学3名、県立大学2名)
- ・教職員(岩手大学2名、県立大学2名)
- ・6店舗取材

④ 現地取材(2)

- ・11月25日(土)～26日(日) 陸前高田市
- ・学生9名参加(岩手大学6名、県立大学3名)
- ・明治学院大学学生2名、岩手大学卒業生1名
- ・教職員(岩手大学2名、県立大学1名、明治学院大学1名)
- ・9店舗取材

⑤ 取材まとめ&発表

- ・12月3日(日)13:00～17:00 岩手県立大学アイーナキャンパス学習室2
- ・取材記事、写真をもとにブログを作成した。

⑥ 追加取材と今後の活動

- ・12月9日(土) 日程が合わなかった1店舗を、教員2名で追加取材した。
 - ・今後の予定
 - 1月 各取材先にブログ原稿を見てもらい、校正する。
 - 2～3月 ブログの公開
- QRコードの作成と表示(看板及びポストカード)

3 次年度に向けた課題

- (1) アバッセ周辺に開業する個店への取材と情報発信の継続
- (2) 参加大学、学生の拡大
- (3) 単位化に向けた検討
 - ・岩手大学では、今年度は「初年次自由ゼミナール」に位置づけたが、1年生後期に限定されるため、1名しか履修者を得られなかった。授業科目上の工夫が必要。
 - ・岩手県立大学では、総合政策学部のゼミの学生が自主的に参加してくれたが、授業科目として位置づけることを検討してはどうか。
 - ・他の大学への普及。
 - ・今回は明治学院大学が現地参加してくれた(学生2名、職員1名)。岩手県以外の大学との連携も考えられる。

著者紹介

井上博夫：岩手大学名誉教授，専門は財政学。2017年より、岩手大学客員教授として陸前高田グローバルキャンパスを担当している。

所属学校・機関等住所：〒029-2206 岩手県陸前高田市米崎町字神田 113-10 陸前高田グローバルキャンパス，
E-mail:hinoue@iwate-u.ac.jp

